

第6回 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議 資料

2020年11月18日

那須塩原市経済活性アドバイザー

朝比奈 一郎

本有識者会議(第6回)でご議論いただきたいこと

- ① 那須塩原駅の新幹線駅開発時から累次議論されながら、未だ開発の方向性が定まらない「那須塩原駅周辺の開発」につき、令和2年度は渡辺美知太郎市長の指示により、その方向性を定める「まちづくりビジョン」を作成することとなりました。有識者の皆さまには、「那須塩原駅周辺の開発」のあるべき方向性について、長期的観点からご議論をお願い致します(那須塩原市にてそのご意見を「まちづくりビジョン」に反映させていただきます)。
- ② 昨年からの状況変化として、35haの工場跡地利用を含めた開発が断念されたことにより、市庁舎移転を起爆剤とした駅前開発のあり方を中心に、ご議論願います。
- ③ 併せて、本有識者会議と同時並行で開催されている「市民懇談会」により、市民から示された意見に対しても、大所高所からご意見いただき、市民の議論に示唆と深みを与えて頂きますと幸いです(那須塩原市より「市民懇談会」での議論にフィードバック致します)。

I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

I これまでの経過

(1)ー1 那須塩原駅周辺の開発

①那須塩原駅の周辺開発

昭和57年に東北新幹線が開通し那須塩原駅(旧東那須駅)が開業。駅前広場については昭和62年に整備が完了。

②那須塩原駅周辺地区の区画整理事業等

那須塩原駅西土地区画整理事業、那須塩原駅北土地区画整理事業を実施。(西地区平成17年、北地区平成25年完了)

③那須塩原駅前のイメージパース策定

④「平成27・28年度 那須塩原駅周辺地区都市再生整備計画策定に関わる調査検討業務報告書」

那須塩原市の新庁舎建設の計画を踏まえ、那須塩原駅の駅前広場の再整備や、民間活力の導入を視野に入れた高度土地利用の促進について検討が行われている。

那須塩原駅周辺のイメージプラン



イメージパース



I これまでの経過

(1)ー2 那須塩原駅周辺の開発(渡辺市長就任後)

令和元年度 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議

渡辺市長就任後、令和元年度に那須塩原駅周辺まちづくりビジョン有識者会議(以下、有識者会議)を立ち上げ、まちづくりビジョン案の策定に着手。令和2年2月に那須塩原駅周辺まちづくりに関する報告書を公表し、まちづくりの方向性として以下の6つの柱を提示。

- ① 市民が中心となり魅力を発信
- ② 歴史を活かしたまちづくり
- ③ 景観を前面に押し出した駅前のあり方
- ④ テクノロジーの活用
- ⑤ 工場跡地の有効活用
- ⑥ 那須塩原市役所の新庁舎

当初は、那須塩原駅周辺のまちづくりとして35haの工場跡地を含めた開発が議論されたい。しかし、工場跡地にメガソーラーを建設予定であったNTTファシリティーズが反対意見を唱えたことに加え、2020年6月5日に栃木県が公表した浸水リスク想定図において、同工場跡地のほとんどが浸水想定エリアに含まれていたことから、有効活用を断念。那須塩原駅周辺の開発について、再検討が必要となっている。



I これまでの経過

(2)市庁舎移設に関する主な経過

那須塩原市の市庁舎移設は、平成17年度の市町合併以降、議論が重ねられてきたが実現に至っていない。

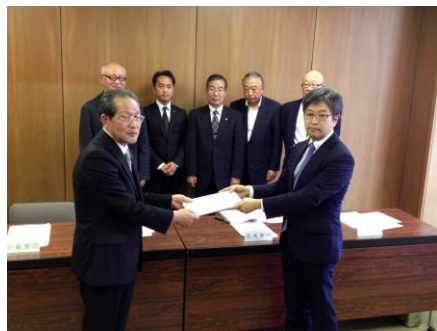
年	概要
平成15年	黒磯市・西那須野町・塩原町合併協議会において、新市の事務所の位置は、新庁舎建設までの間、現在の黒磯市役所とし、本庁及び支所を置くこととなる。将来の新庁舎の位置は、那須塩原駅周辺とすることを確認。当初は市町合併10年後の平成27年を移設目標としていた。
平成23年	東日本大震災に起因する東京電力福島第1原子力発電所の事故により、喫緊の課題である放射能対策を最優先に取り組むこととし、新庁舎建設の検討は一時延期。
平成28年	東京オリンピックなどの影響により、建築費等の高騰が伝えられていること、また、合併特例債の発行可能期間も平成36年度(令和6年度)まで延長されたことを踏まえ※、東京オリンピック以降に建設時期を延期することが適当であると判断される。
平成29年	合併特例債の発行可能期間を見据えると、東京オリンピック以降、速やかに建設工事に着手する必要があることから、庁内検討組織を立ち上げ、新庁舎建設基本計画の策定に向けた検討を再開。
平成31年	パブリックコメントや市民アンケートの結果、市議会からの提言事項などを踏まえ、同年3月に那須塩原市新庁舎建設基本計画を策定。 同年4月に渡辺市長が就任し、那須塩原駅周辺のまちづくりビジョンの検討を進めてから市庁舎移設を行うこととなっている。

※合併特例債については平成30年の改正特例法により更に5年間の延長が可能となっている。

(参考) 黒磯駅前開発の進展

黒磯駅前では、以下の取り組みなどによりソフト・ハード両面での活性化策が先行している。

会議・プロジェクト名	概要
「黒磯駅前及び周辺地域活性化懇談会」(平成26年度)	黒磯駅前地区では平成26年から「黒磯駅周辺地区都市再生整備計画」に基づき、ハードを中心とした事業を実施することになっており、戦略的な事業展開のためのコンセプトを必要としていた。そのため、市内経済団体等の代表者や有識者からなる懇談会を開催し、黒磯駅前を「旅人が温泉・アート・食と出会うゲートシティ」として位置付け、7つのコンセプトを取りまとめた。
「黒磯駅前の再生事業(えきっぷくろいそ)」(平成26年度)	黒磯駅前のあり方を話し合う市民によるワークショップの開催や、リバースプロジェクトの支援を受けて実施されたまちづくり市民投票を通じて、黒磯駅前活性化案を取りまとめた。
ART369プロジェクト(平成30年度～)	黒磯駅周辺から板室温泉までの板室街道沿いを「ART369」として、アートで地域を盛り上げるプロジェクトを展開。板室街道が主に県道369号であること、那須塩原市の特産品・牛乳(ミルク、369)から名付けられており、「アート」と「映画」を活用し、地域の魅力の発信を行っている。



黒磯駅周辺の活性化懇談会による報告書の提出



那須塩原市まちなか交流センターくるる(令和元年7月開館)



那須塩原図書館みるる(令和2年9月開館)

I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-1 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（ワーケーションの拡大）

新型コロナの感染拡大により、軽井沢や南紀白浜などの地方におけるワーケーションが注目を集めている。

長野県軽井沢町におけるワーケーション推進

軽井沢町では、軽井沢観光協会や軽井沢町商工会が中心となり、軽井沢リゾートテレワーク協会を立ち上げテレワークの啓発活動に積極的に取り組んでいる。

コワーキングスペース、サテライトオフィス、ホテル内ワークスペース、オンライン会議専用ラボがオープンするなど、多様な働き方のニーズを受け入れている。



白浜町におけるワーケーション推進

白浜町は羽田空港－南紀白浜空港の移動時間が約1時間と首都圏からのアクセスが良く、ワーケーションの適地として企業の注目を集めている。昨年5月には三菱地所がワーケーション用オフィスを開設し、今年11月にはIT企業の集積を目指す「ANCHOR(アンカー)」を開設するなど企業誘致に成功している。



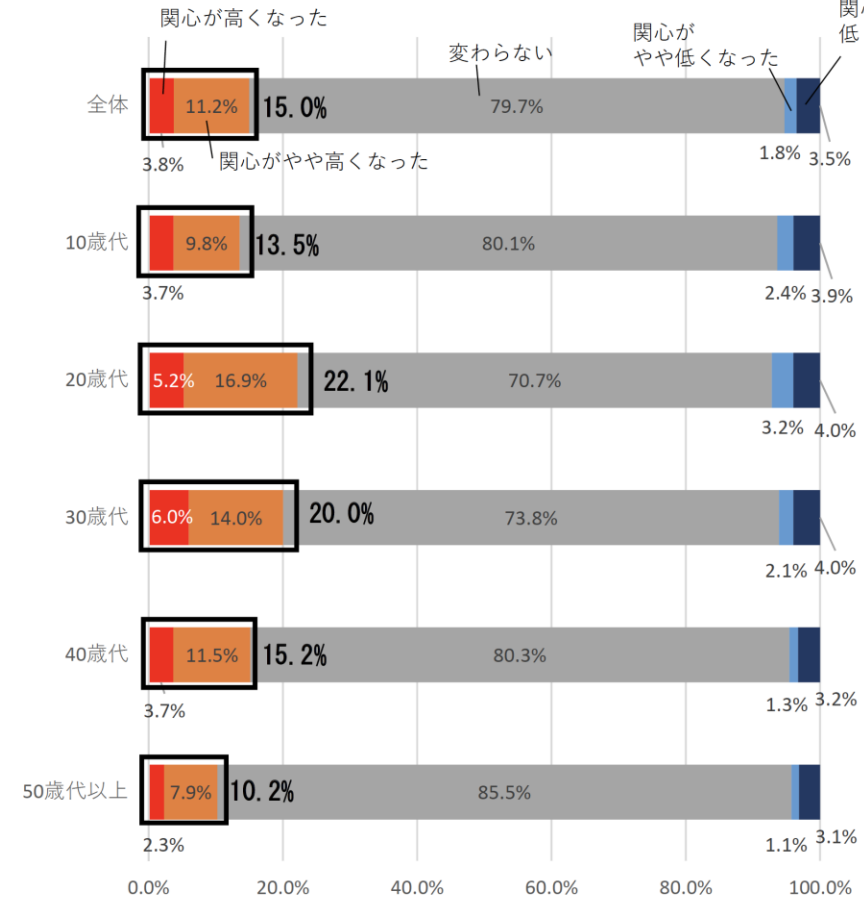
Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-2 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（地方移住への関心の高まり）

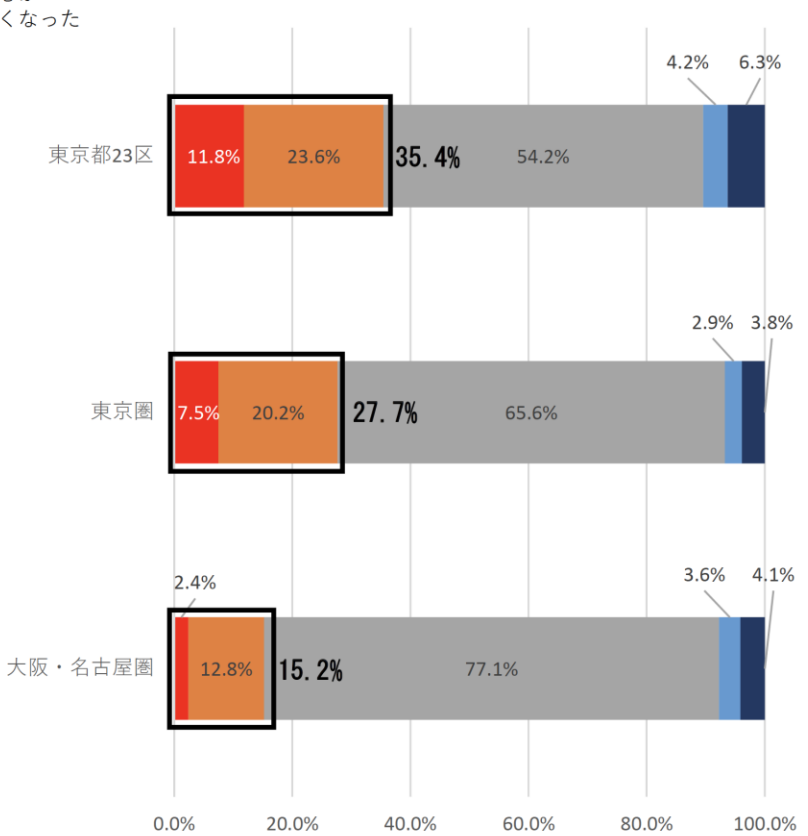
内閣府の調査によると、新型コロナの影響により、年代別では20歳代で22.1%、地域別では東京都23区に住む者の35.4%が地方移住への関心が高まっていると回答。

質問 今回の感染症の影響下において、地方移住への関心に変化はありましたか。（三大都市圏居住者に質問）

年代別



地域別（20歳代）



（備考）三大都市圏とは、東京圏、名古屋圏、大阪圏の1都2府7県。
・東京圏：東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県
・名古屋圏：愛知県、三重県、岐阜県
・大阪圏：大阪府、京都府、兵庫県、奈良県

Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-2 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（地方移住への関心の高まり）

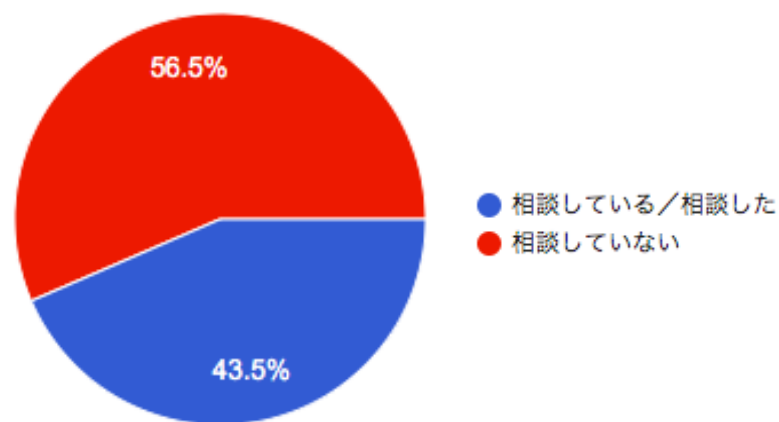
首都圏を中心に調査したアンケートでは、4割程度の人が実際に地方への移住を検討しており、誰かに移住を相談した層の約1割が実際に移住を実施もしくは決定済。

移住に関する検討の状況

1) 今回の新型コロナウイルスの影響を受けて地域へ引越の検討や、そのための地域の方への相談などをしたことがありますか？

（2月中旬～7月現在の間で）

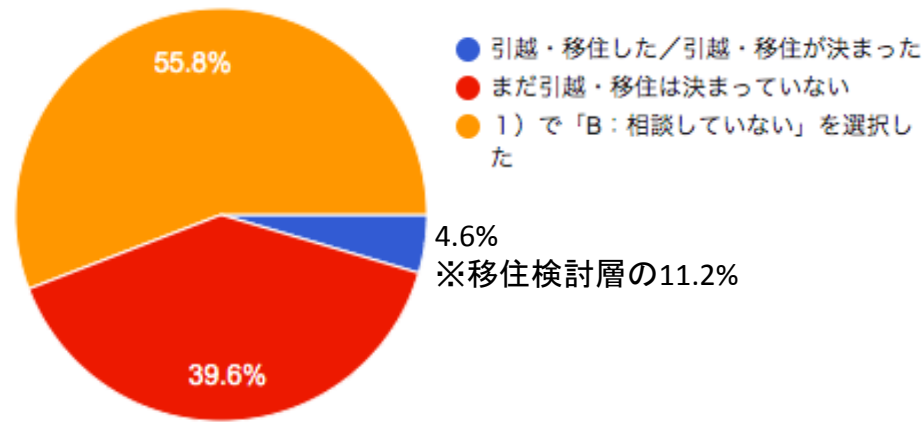
（N=154）



実際の移住実施状況

1) で「A：相談している／相談した」を選択した方に質問です。その後の状況について教えてください。（2月中旬～7月現在の間で）

（N=154）



※回答者の居住地：一都四県63.8%、そのほか地域36.2%

資料：SMOUT移住研究所、移住意向についてのアンケート調査概要（2020年7月29日～7月31日、SMOUT調べ）

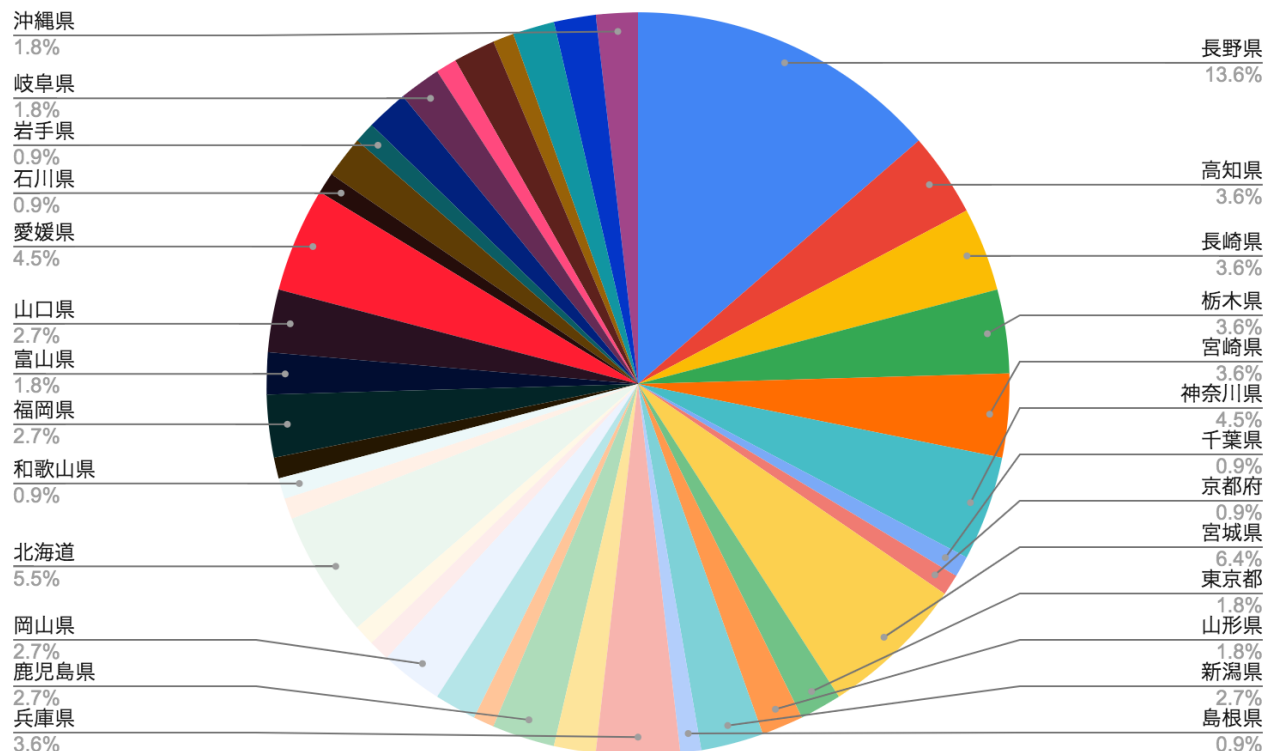
Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

(1)ー2 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化(地方移住への関心の高まり)

実施に移住を検討している層のうち、移住先として相談した地域は、栃木県が5位の3.6%となっている。なお、1位が長野県で13.6%、2位が宮城県で6.4%、3位が北海道で5.5%、4位が愛媛県、神奈川県で4.55%、5位の3.6%はその他、高知県、長崎県、宮崎県、兵庫県。

移住検討層における移住意向地域

1)で「A:相談している／相談した」を選択した方に質問です。どの地域に相談しましたか？都道府県でお答えください。(2月中旬～7月現在の間で／複数回答)



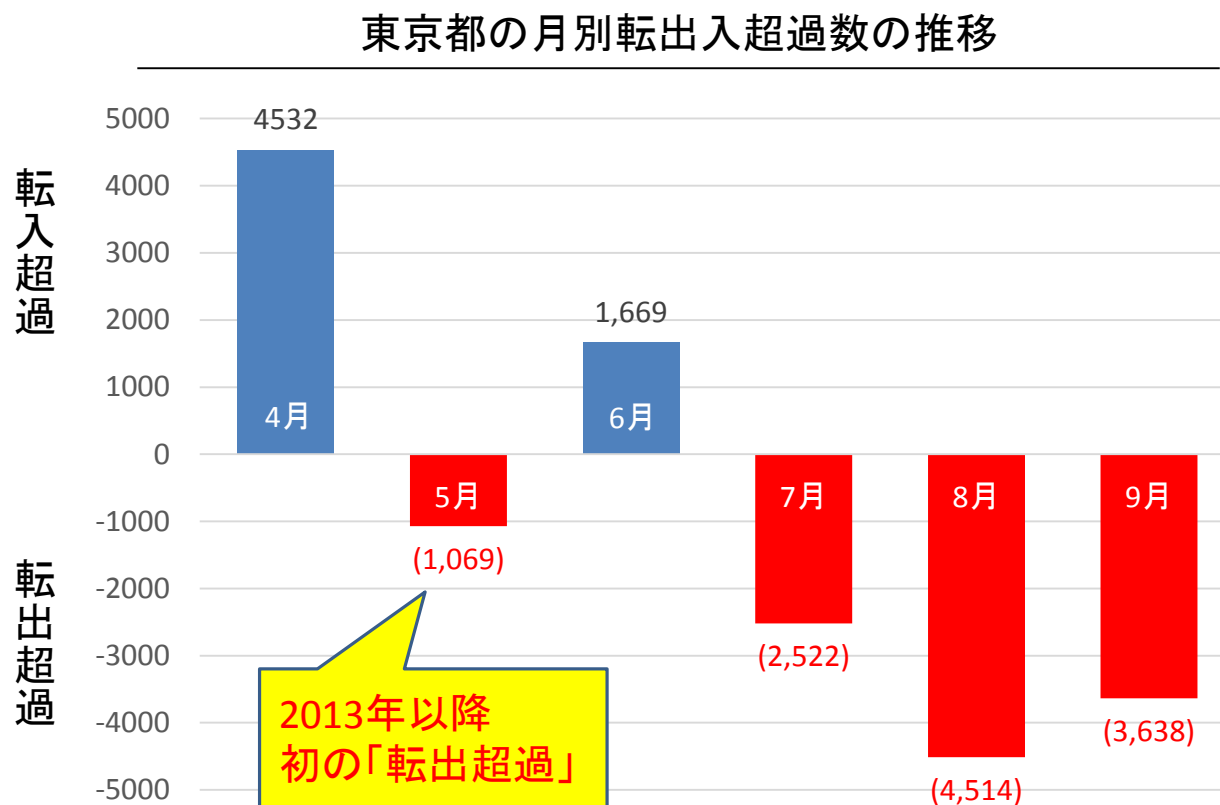
※回答者の居住地:一都四県63.8%、そのほか地域36.2%

資料: SMOUT移住研究所、移住意向についてのアンケート調査概要(2020年7月29日~7月31日、SMOUT調べ)

Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-2 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（地方移住への関心の高まり）

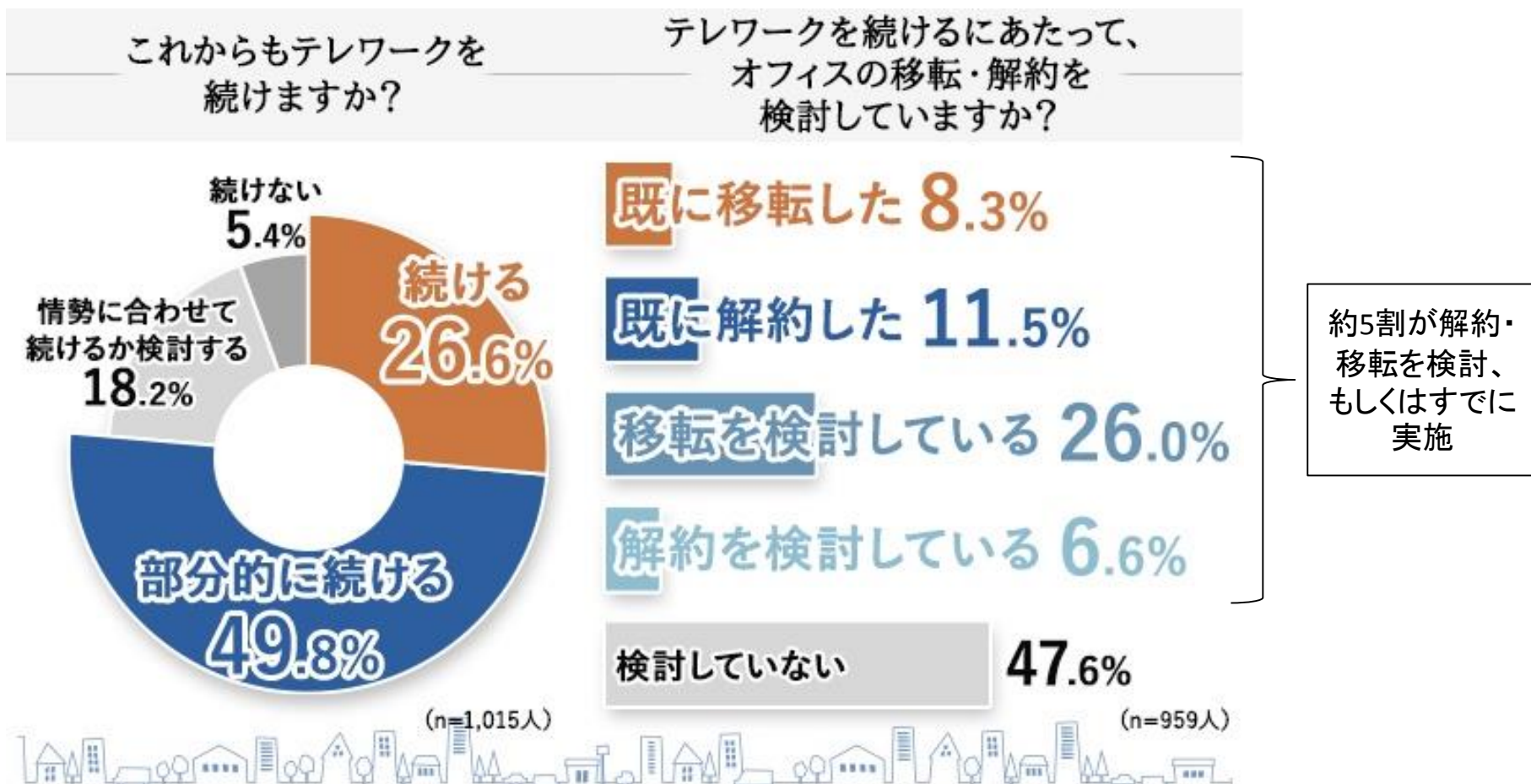
コロナウィルス感染拡大を受け、東京都では今年5月に2013年以降初の転出超過を記録。その後も、7月、8月、9月と連続して転出超過が続いている。



Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-3 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（オフィス移転）

企業経営者を対象としたアンケートでは、約5割の経営者が、オフィスの移転・解約を検討している、もしくはすでに実施していると回答している。



Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

（1）-3 新型コロナの感染拡大を踏まえた意識変化（オフィス移転）

大企業でも本社機能の地方への移転の事例が出てきており、首都圏中堅中小企業においても、地方への拠点分散や比重を大きくする動きがみられる。

パナソニックの淡路島への本社移転

人材派遣大手のパナソニックが、主な本社機能を東京から兵庫県の淡路島に移す試みが注目されている。2024年5月末までに役員や社員ら約1200人が段階的に移り住む計画。

パナソニックの本社（東京都千代田区）では、グループ企業を含めて約4600人が働く。「移住」の対象は経営企画や人事、IT部門など本社機能を担う約1800人のうち、3分の2に当たる約1200人に上る。



● パナソニックグループが手がける淡路島の主な施設



東京圏中堅中小企業の移転事例

茶専門店を展開するルピシア（東京・渋谷、注：従業員数1,307名（2019年6月末時点））は15日付で本社の登記を北海道ニセコ町に移す。ニセコ町に食品工場があるほか、ビール工場建設も進める。経営陣や商品企画などを中心にまず20～30人程度を配置する。

ソフトウェア開発のフラー（千葉県柏市、注：従業員数92名）の渋谷修太社長は6月、地元の新潟県に移住した。新型コロナ感染拡大で在宅勤務を経験し「どこに住んでも仕事に支障がない」と感じたことがきっかけだ。今後は、新潟オフィスを拡大し、本社機能の一部移転も検討する。

ソフト開発のアステリア（注、東証一部、従業員数114名（連結））は東京と大阪に拠点が集中しており、リスク分散の観点から研究開発拠点を新たに熊本に新設することを決めた。営業拠点も新たに名古屋に設けることを検討する。一方で、東京や大阪のオフィスは縮小する。

Ⅱ 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

(2) 国政の動き

- 自民党では、新型コロナの感染拡大をきっかけに、国会改革や首都機能移転の議論が再燃。
- 自民党の若手議員有志でつくる「コロナを機に社会改革を目指すPT」は、本年4月に「ポストコロナ社会の国会・政党改革に向けた緊急提言」を公表。
- 6月、「社会機能の全国分散を実現する議員連盟」(会長・古屋圭司元国家公安委員長)が設立。
- 11月、上記「社会機能の全国分散を実現する議員連盟」が、自民党の正式な会議体「社会機能移転分散型国づくり特命委員会」に位置付けられ、自民党としての提言発出を検討。

【参考】朝比奈が本年5月、上記「コロナを機に社会改革を目指すPT」で、環境省の那須塩原移転案などを取り上げながら、首都機能移転に関する講演を実施。

コロナ危機に大胆な経済対策を！新・首都機能移転論

「環境省の那須移転」で見えてくるスーパーシティ先進国の道

2020.3.27（金） 朝比奈 一郎

地域振興 政治 経済

1 2 3 4 5 6 7



新型コロナウイルスの感染拡大でも東京一極集中の脆さが浮き彫りになりつつある

(参考) 環境省の那須移転で見えてくるスーパーシティ先進国の道(2020年3月 JBpress)



(参考) 自民党「コロナを機に社会改革を目指すPT」
オンライン勉強会の様子

(3) 栃木県知事選

- 11月15日に行われた栃木県知事選で、5選を目指した現職の福田知事が再選。福田知事は自身のマニフェスト「とちぎの挑戦2020」で、これまで進めてきた国会等移転の方針を継続しながら、中央省庁をはじめとした国の機関など、首都が有する一部の機能について、地方への分散移転を市町とともに国に働きかける方針。

とちぎの挑戦2020(福田富一)

○ 中央省庁など首都が有する機能の一部の地方分散の働きかけ

これまで進めてきた国会等移転の方針を継続しながら、新たに中央省庁をはじめとした国の機関など、首都が有する機能の一部について、地方への分散移転を市町とともに国に働きかけていきます。

【参考】那須塩原市は、平成24年9月に「首都機能バックアップ・キャンプ那須構想」中間報告書を公表しており、首都機能移転に向けた、今後の展開が期待される。

首都機能バックアップ・キャンプ那須構想(平成24年9月)
(平時と有事の際の施設の担う役割)

平時のキャンプ那須	災害発生後のキャンプ那須
国際会議場・情報センター	データバックアップセンター
大使館別邸	外国要人避難所及び各国の災害対策本部
総理別邸	総理等要人避難所
迎賓館	災害対策本部
プレスセンター	プレスセンター
職員の宿泊施設(ホテル)	危機管理対応宿泊施設
那須御用邸	皇族の避難所
経済団体等の別邸	経済団体等の避難所

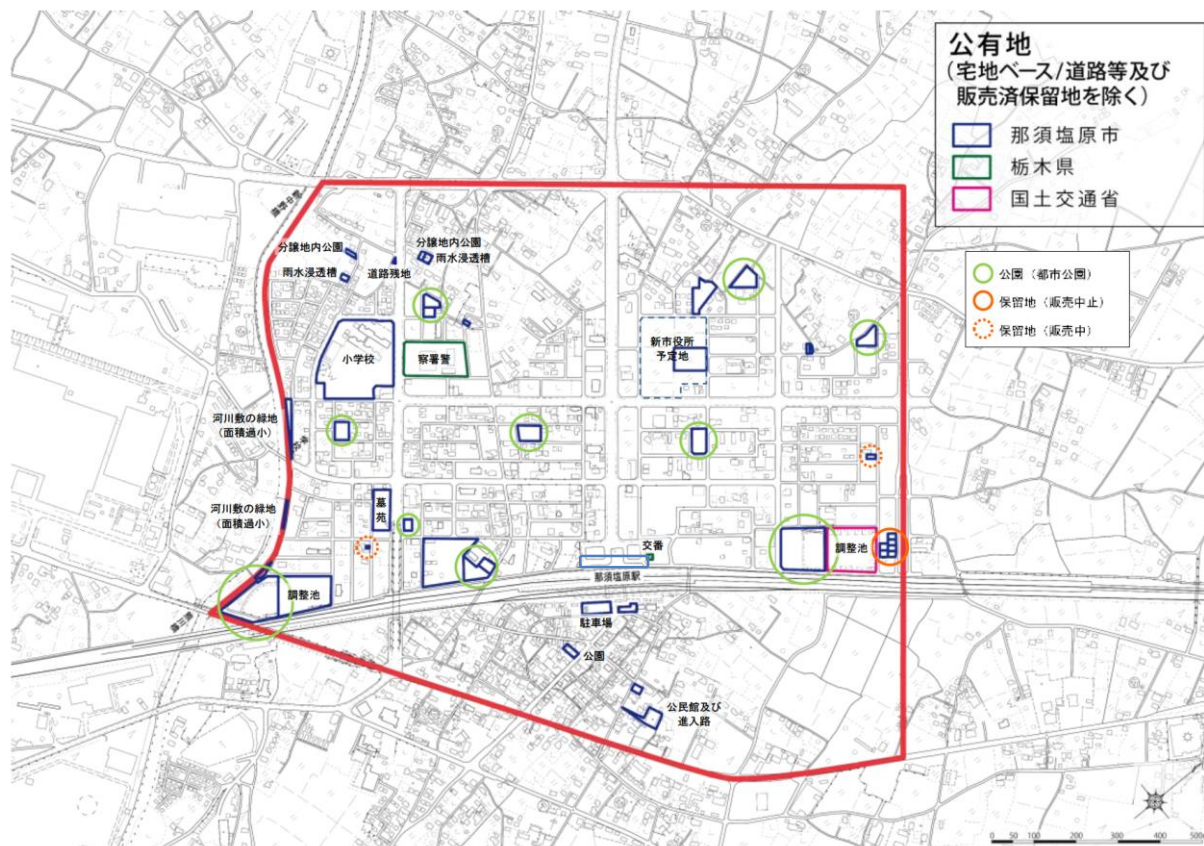
(参考)これまでの国会等移転の方針
国会等移転の移転先候補地
(平成11年12月 国会等移転審議会)



論点： 新庁舎を中心とした那須塩原駅周辺のまちづくり

- 35haの工場跡地の活用を見送った現状で、今後の駅前開発の鍵となるのは市庁舎移設。
- 新型コロナウイルス感染の影響で、ワーケーションや地方移住の進展、首都機能移転の議論が活発化するなど様々な社会変化を引き起こしているが、これらの影響を上手く取り込みながら「まちづくりビジョン」として結実させていく必要。
- 駅周辺には駅前広場を含め市の公有地が点在し、これらを有効活用した活性化策を模索できないか。

公有地（平成27年9月）



I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

Ⅲ 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

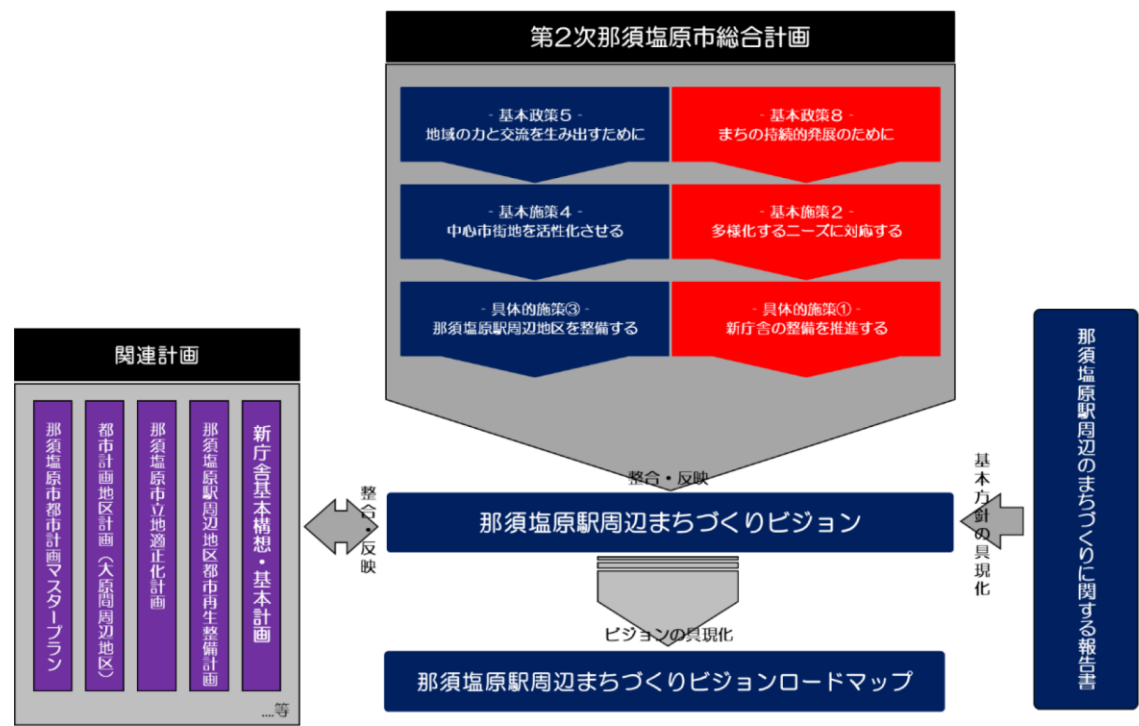
(1) 那須塩原駅周辺まちづくりビジョンの位置付け

今回策定する那須塩原駅周辺まちづくりビジョン(以下、まちづくりビジョン)は、「第2次那須塩原市総合計画」(以下、第2次総合計画)を最上位計画としており、その中で「那須塩原駅周辺の整備」及び「新庁舎建設事業の推進」がまちづくりビジョンに関する関連事業として掲げられている。

令和元年度に公表された有識者会議による「那須塩原駅周辺のまちづくりに関する報告書」(以下、有識者会議報告書)をベースとして、第2次総合計画等との整合を図りながら、まちづくりビジョンの具体化を進める。

また、まちづくりビジョンにおいては、昨年度有識者会議にて渡辺市長より20-30年後を見据えた責任あるまちづくりをしたいとの発言があったことや、那須塩原市民の子供や家族の未来という観点も踏まえ、30年後の未来に在るべき那須塩原駅周辺の将来像を描くこととする。

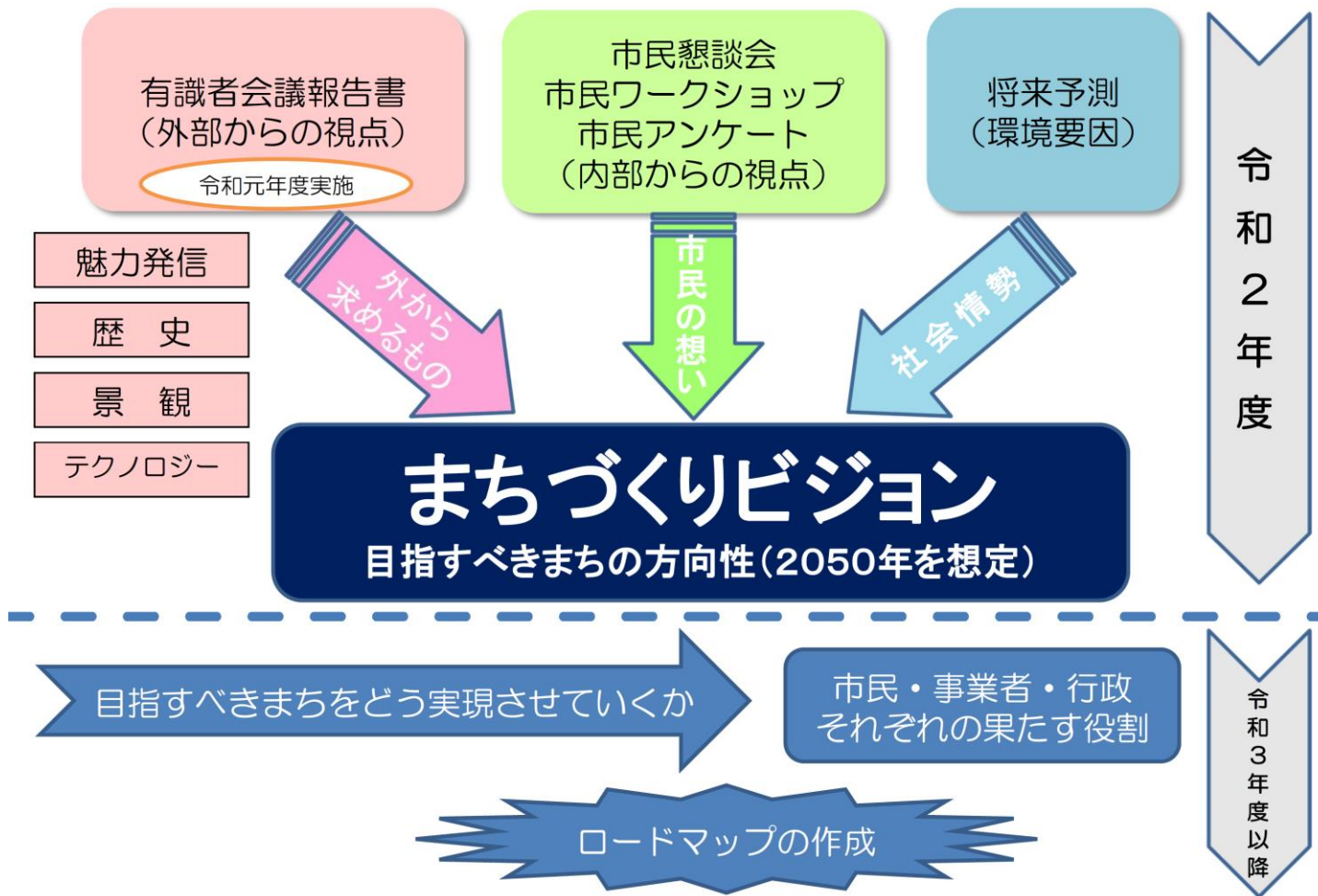
【まちづくりビジョンの位置付け】



Ⅲ 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

(2) 市民意見の集約

昨年度の有識者会議において、まちづくりに携わる地元の人の意見を聞くことが重要とのコメントが多く出されたことを受け、今年度は市民懇談会、市民ワークショップ、市民アンケートを通じて市民の想いを吸い上げ、まちづくりビジョンとして形にしていこう。



(3)まちづくりビジョンのコンセプト

有識者会議報告書にて示された6つのまちづくりの方向性から、「工場跡地の有効活用」を削除し、新たに「高い将来性と可能性」及び「市民参画の中でのテーマ」を加えることで、まちづくりビジョンでは計7つの方向性を新たに設定する。

まちづくりビジョンの実装を通じて、人口減少の抑止、民間活力の呼び込み、新たなにぎわい創出などを実現させ、新たな時代にふさわしいサステナブルなまちを創り上げる。

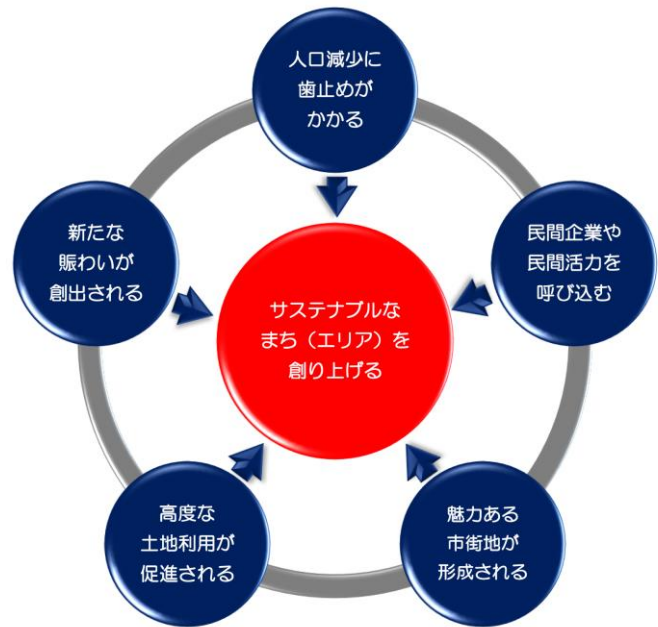
有識者会議報告書

- (1)市民が中心となり魅力を発信
- (2)歴史を活かしたまちづくり
- (3)景観を前面に押し出した駅前のある方
- (4)テクノロジーの活用
- (5)工場跡地の有効活用
- (6)那須塩原市役所の新庁舎

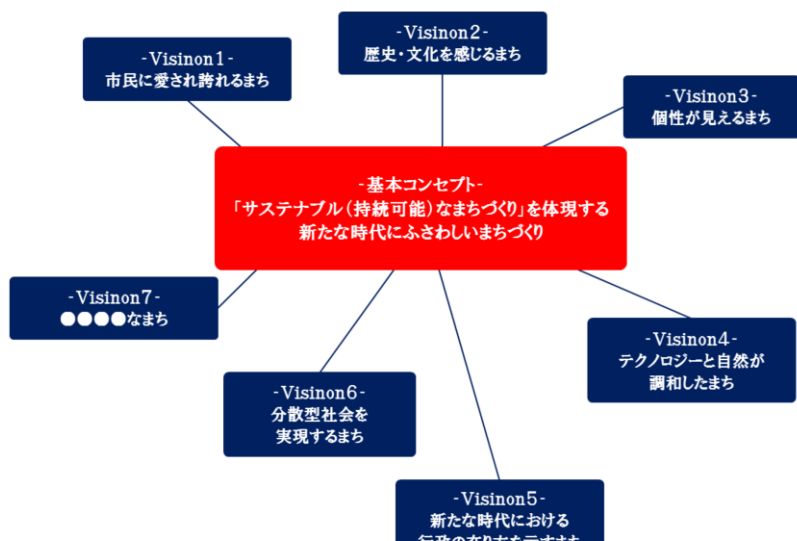
まちづくりビジョン

- (1)市民が中心となり魅力を発信
- (2)歴史を活かしたまちづくり
- (3)景観を前面に押し出した駅前のある方
- (4)テクノロジーの活用
- (5)那須塩原市役所の新庁舎
- (6)高い将来性と可能性
- (7)市民参画の中でのテーマ

【ビジョンの効果と成果イメージ】

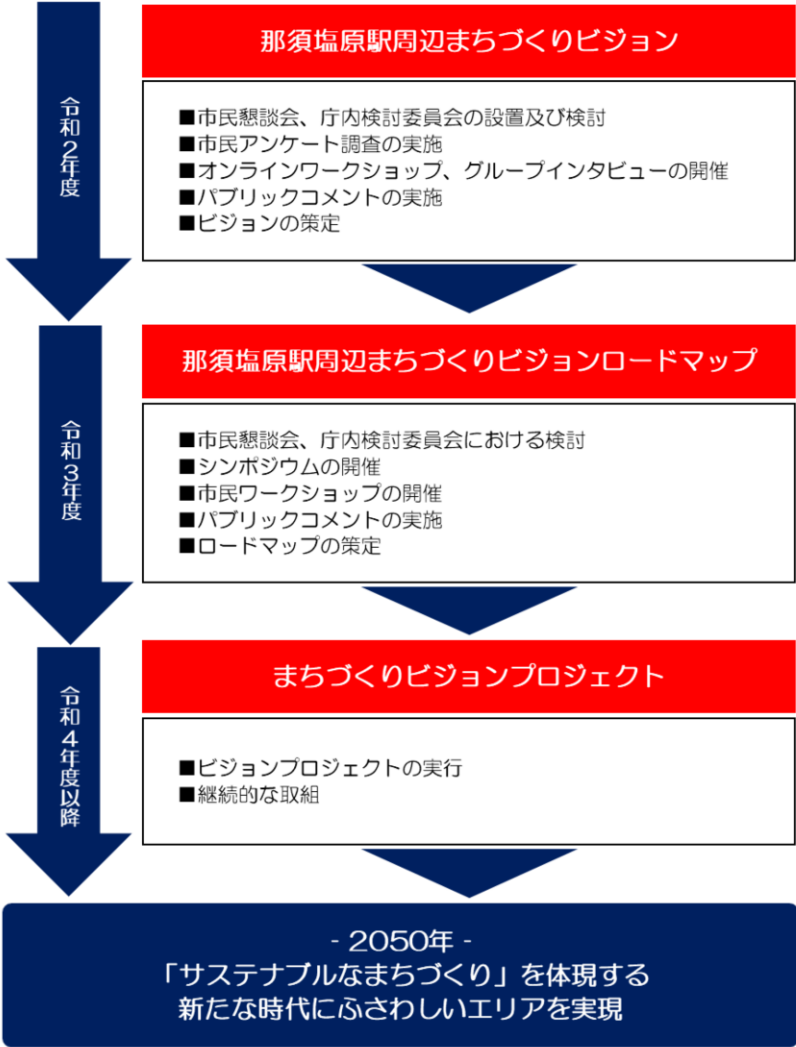


【コンセプト構成図】



(4)まちづくりビジョンの実現に向けたスケジュール

令和2年度のまちづくりビジョンを踏まえ、令和3年度には市民懇談会や外部意見も踏まえつつ、具体的なプロジェクト候補と整備スケジュールを含めた「まちづくりビジョンロードマップ」を策定。令和4年度からは策定されたロードマップをもとに「まちづくりビジョンプロジェクト」に順次着手していく。



I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

IV 第1回市民懇談会の結果概要

第1回 那須塩原駅周辺まちづくりビジョン市民懇談会 令和2年8月26日(水) 14:00-16:00(オンライン会議)

市民懇談会委員名簿

No.	所属等	委員氏名 (敬称略)	分野等	備考
1	宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科	石 井 大 一 朗	学識経験者	会長
2	自治会長連絡協議会	橋 本 秀 晴	自治会	副会長
3	地域婦人会連絡協議会	小 出 清 子	女性	
4	民生委員・児童委員協議会連合会	安 藤 義 孝	福祉	
5	子ども・子育て会議	西 田 由記子	こども	
6	NPO法人なすしおばらまちづくり プロジェクト	室 越 礼 一	まちづくり	
7	東那須野地区ふれあい推進協議会	三本木 強	まちづくり	
8	(一社)黒磯那須青年会議所	泉 洋 平	青年 若者	
9	那須野が原青年会議所	田 中 利 幸	青年 若者	
10	県北わかものラボ	濱 野 将 行	青年 若者	
11	那須塩原市商工会	大 島 小 織	商工	
12	西那須野商工会	大 倉 太喜生	商工	
13	流通科学大学 人間社会学部 観光学科	柏 木 千 春	観光	
14	駅前広場運営協議会	村 山 茂	観光 交通	
15	ジェイアールバス関東(株)西那須野支店	山 本 和 宏	交通	

○ 事務局：企画部 那須塩原駅周辺整備室

第1回市民懇談会における主な意見

①市庁舎の移設

市民全体が那須塩原駅周辺に行ってみようではないか、新庁舎も含めてその周辺で何かやってみようではないかというような思いを盛り上げていきたい。

②駅周辺における駐車場

現在の駅周辺は駐車場だらけであり、一つでも駐車場を無くしてといっては失礼だが、魅力ある商店街通りにして欲しい。

③那須塩原の歴史

駅前にその土地を象徴するモニュメントがあることが多いが、外から来てもらった方によこそというスタンスに加え、今の子ども達が里帰りで戻ってきた時に、おかえりなさいという気持ちで迎えてあげたい。

④新幹線の待ち時間

食事や買い物が出来る飲食店や商業施設など、新幹線の待ち時間に利用できるスペースが必要である。

⑤公共交通問題

観光地への二次交通を考え、駅前ロータリーを含めた駅周辺の整備が必要。また、市民が駅へ行き来するための公共交通を市が負担して整備すべきである。

第1回市民懇談会における主な意見

⑥Wi-Fi整備

那須塩原市には電波環境が悪い地域もあり、Wi-Fi スポットの整備を出来るところからやったほうが良い。

⑦駅前風景

那須塩原市には駅が三つあるが、那須塩原駅にしかないものを考えると、駅前の景観を大切にすべき。

⑧駅ビルの建設

現状は駐車場通りになっているので、駐車場の上空の利用を考えれば良い。例えば、1階を駐車場にして、2階にシェアオフィスや子育て支援施設、産地直売所を作れば良いのではないかな。

⑨計画の位置付け

まちづくりビジョンは市民の生活者向けなのか、外から人を呼び込むことをメインとしているのか明確にすべき。

⑩意見聴取

例えば幼稚園児や小学生に将来の駅周辺はどうなって欲しいと問いかけて、それを絵に書いてもらって駅周辺に飾れば市民の機運も高まるのではないかな。

I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

V 市民アンケート調査の結果概要

○「市民アンケート調査」の概要

調査名	対象者	調査人数	回答数	調査時期	調査方法
市民アンケート (15歳以上)	15歳以上の那須 塩原市民	2,000人	1,153件	令和2年9月11日～ 10月2日	郵送配布、郵送回収 またはWeb回答
高校生アンケート	市内県立高等学校 4校に通う全生徒	2,470人	960件	令和2年10月15日～ 22日	市HP上の特設ページ からのWebによる回答

市民アンケートの分類

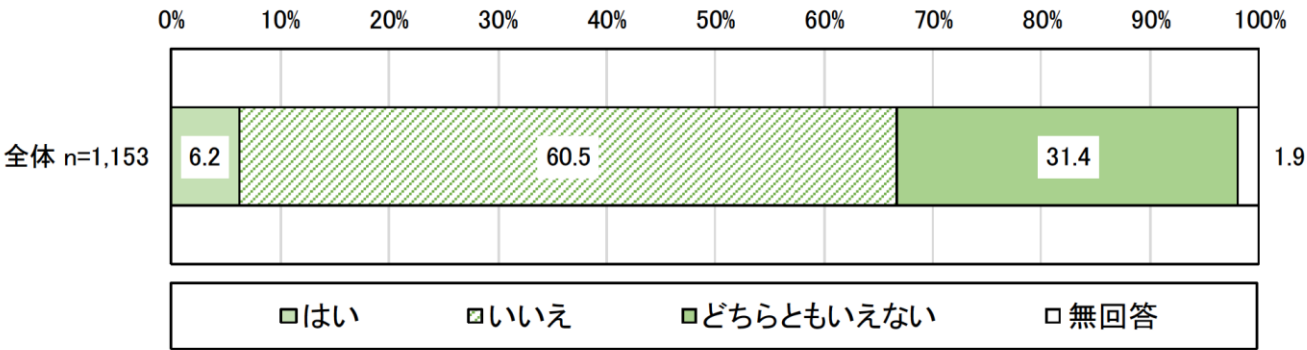
- ① 15歳以上の市民のみに対する設問
- ② 高校生のみに対する設問
- ③ 15歳以上の市民及び高校生に対する設問

V 市民アンケート調査の結果概要

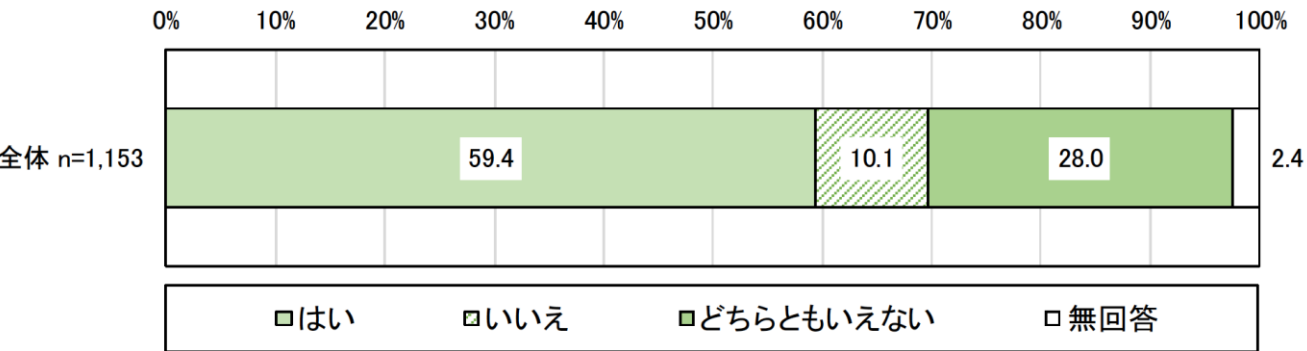
(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

問1. 那須塩原駅周辺の現状をどのように感じますか。
あなたの印象や感想に近いものを御回答ください。(それぞれに○は1つ)

①全体的に人や地域に活気や賑わいがある



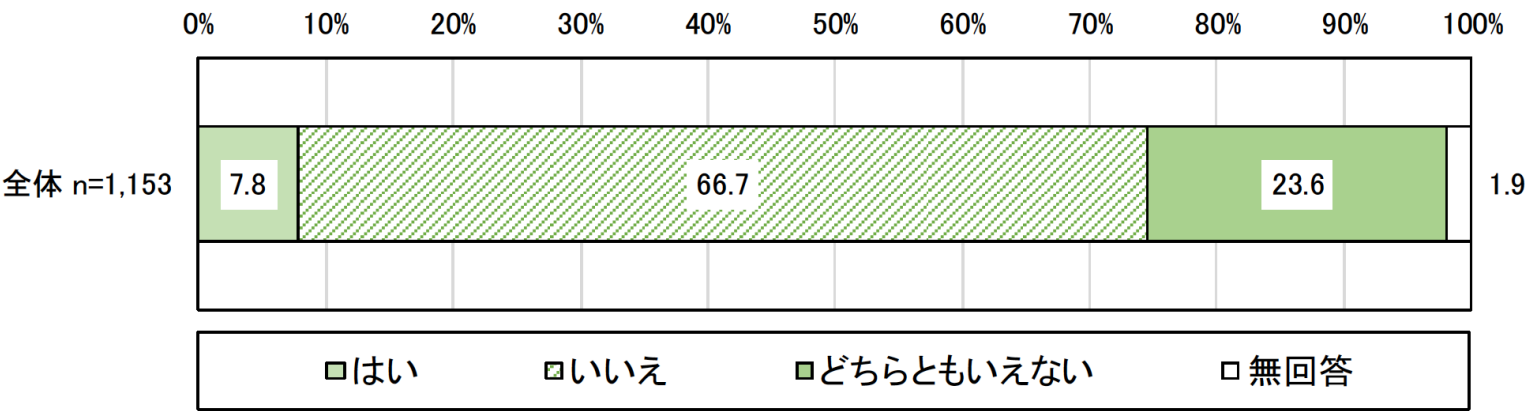
②静かで落ち着いた感じのまち並みである



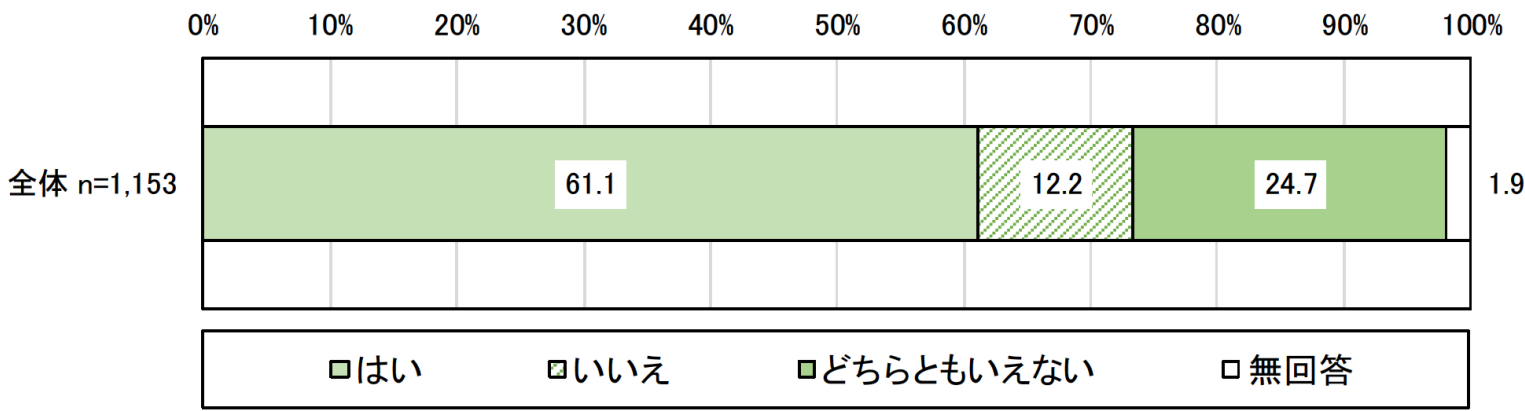
V 市民アンケート調査の結果概要

(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

③利用したいと思う店舗や施設が充実している



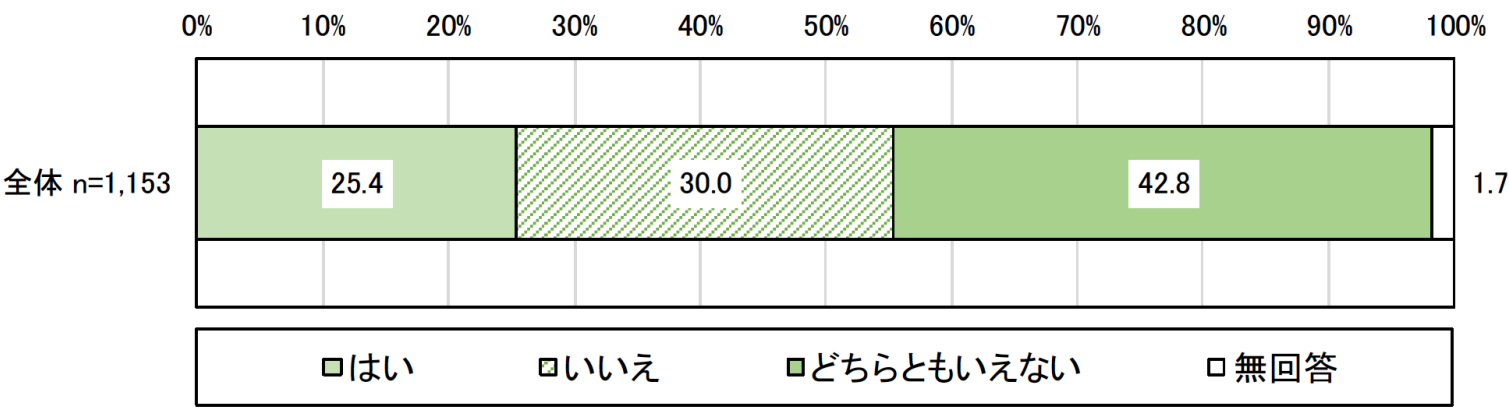
④通勤や通学、観光などの大切な出発点となっている



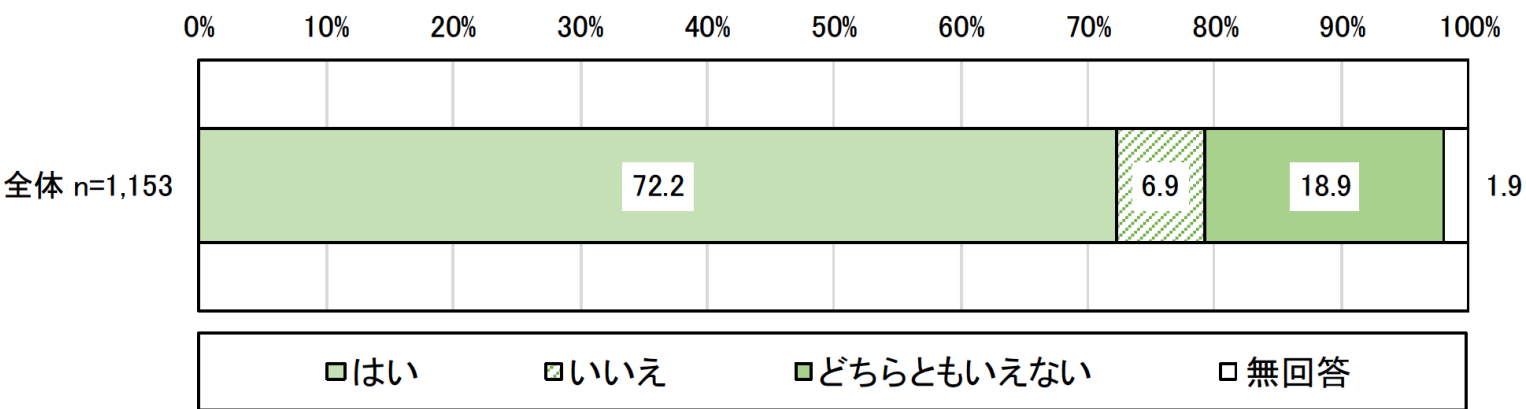
V 市民アンケート調査の結果概要

(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

⑤バスやタクシーなどの公共交通機関が充実している



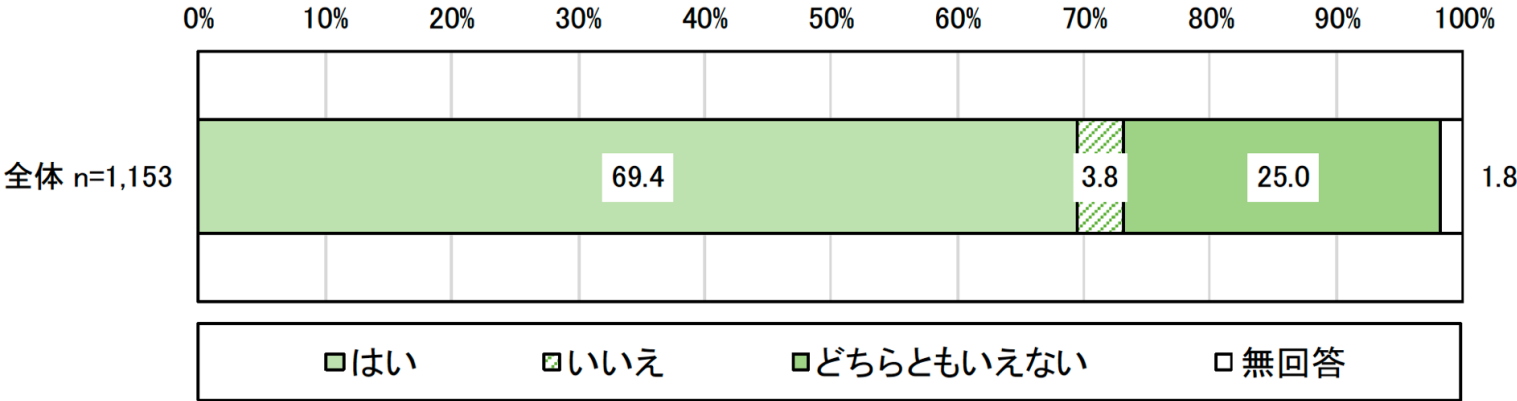
⑥駅を降りた時に山並みが見えるなど景観が良い



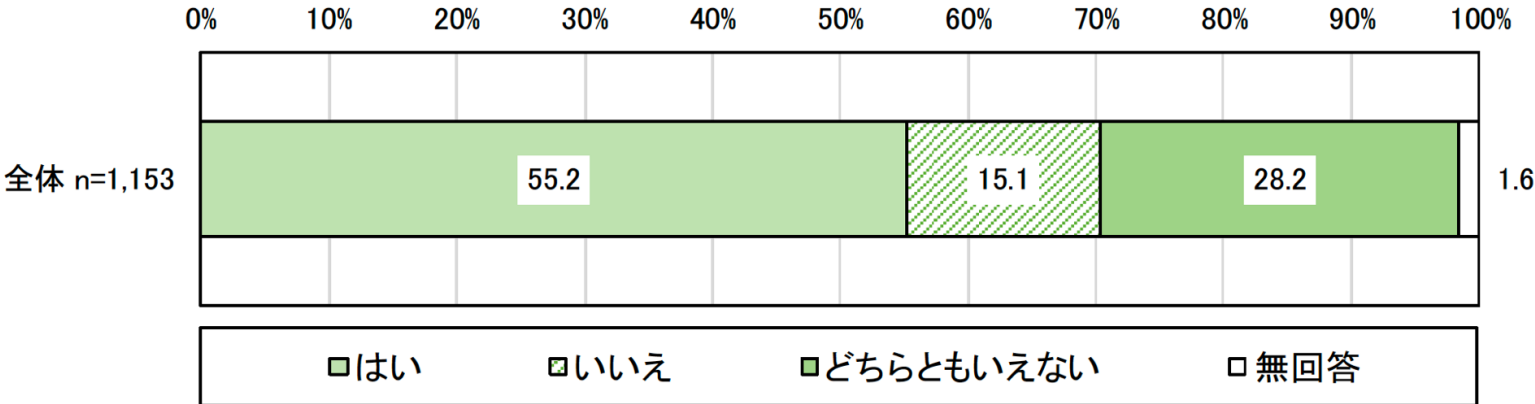
V 市民アンケート調査の結果概要

(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

⑦災害や犯罪が少なく安心して生活が出来そう



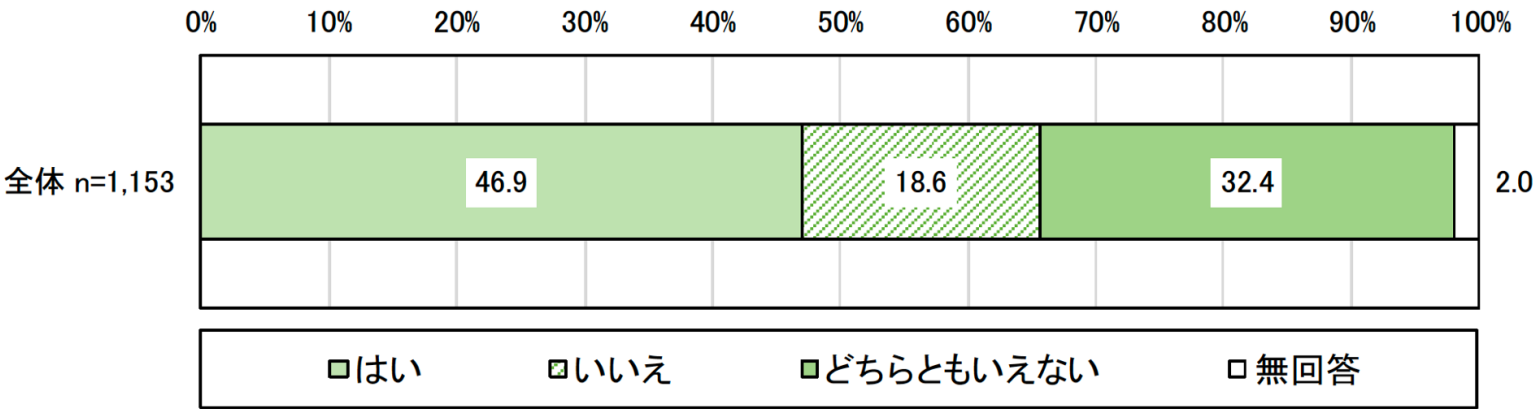
⑧道路などが良く整備されている



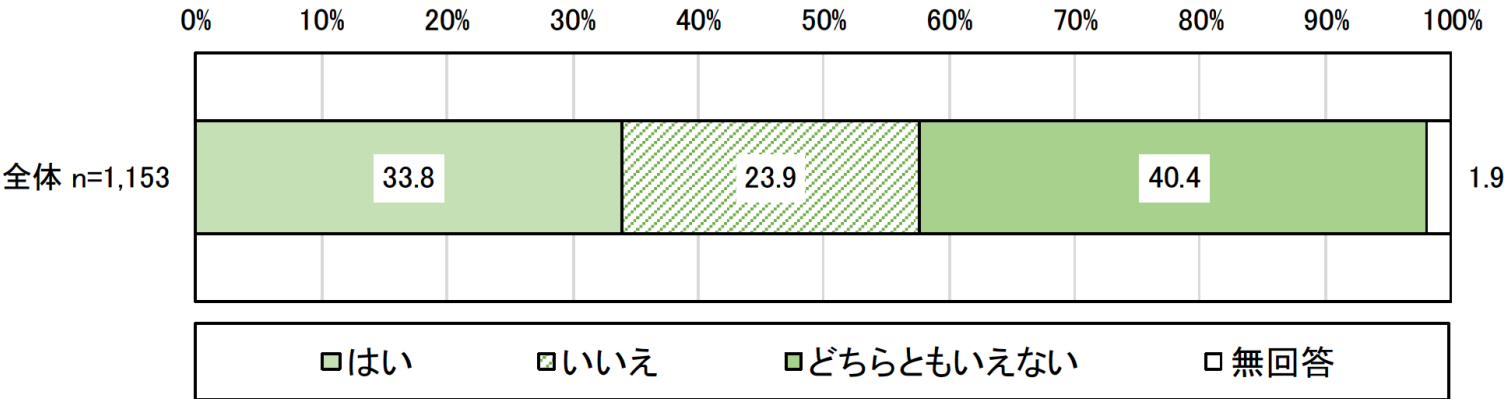
V 市民アンケート調査の結果概要

(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

⑨ 駐車場が充実しており、便利である

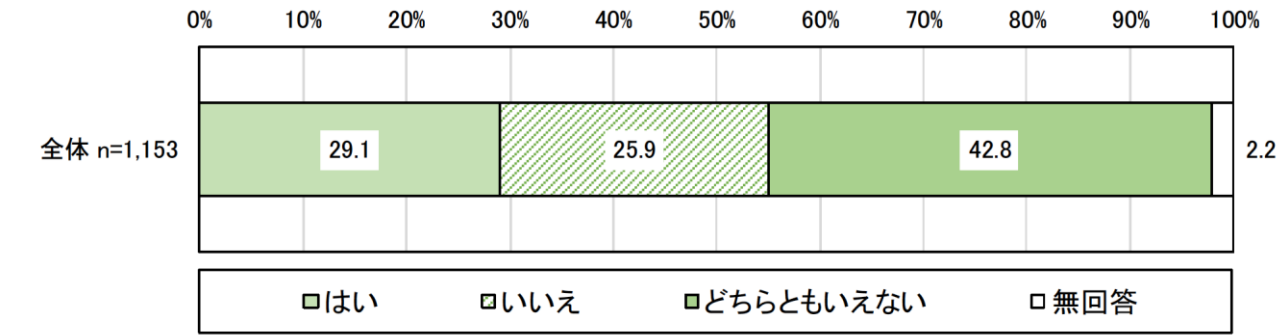


⑩ 緑地や公園などが整備され、豊かな自然環境に恵まれている

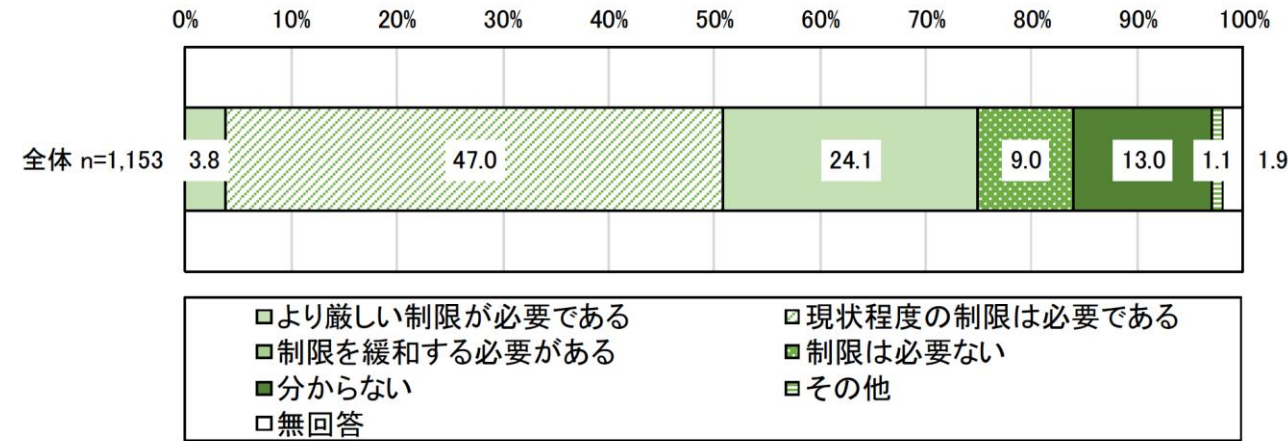


(1) 15歳以上の市民のみに対する設問

⑪那須塩原らしさや栃木県北の玄関口としてふさわしい雰囲気がある

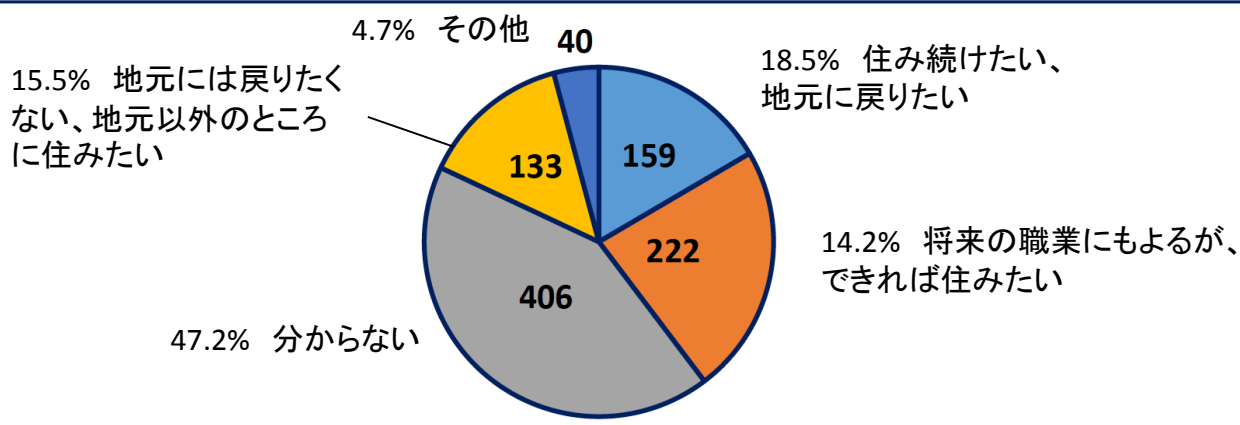


問 2. 現在、那須塩原駅西口の一部の区域には建物の高さ制限（25m）があります。この制限は、景観を保護する役割を果たしていますが、一方でこうした制限が、駅周辺の開発が進まない要因の一つになっている可能性も考えられます。今後、駅周辺整備を進める上で、建物の高さ制限は、必要だと思いますか。お考えに近いものを御回答ください。（○は1つ）



(2) 高校生のみに対する設問

問1. 10年後、那須塩原市(市外の方については地元)に住んでみたいと思いますか。



- 10年後、那須塩原市（市外の方については地元）に住んでいたいと思いますか。（必須） 1. 住み続けていたい又は地元に戻ってきたい。
- 0 2. 将来の職業等にもよるが、できれば住みたい。
- 0 3. 分からない又は何とも言えない。
- 0 4. 地元には戻りたくない又は地元以外のところに住みたい。
- 0 5. その他

V 市民アンケート調査の結果概要

(2) 高校生のみに対する設問

問2. 那須塩原駅を使いやすく、愛着が湧く場所にするために、何を設置したら良いと思いますか。

	回答	割合
1	自習スペース	49.4%
2	周辺のお店などが掲載された地図	34.8%
3	キッチンカー	33.5%
4	ベンチ	32.0%
5	平日、牛乳を無料で飲めるスポット	22.9%
6	月替りの写真スポット(ロータリーの各所に複数設置)	15.2%
7	花を植えたプランター(高校生と一緒に作成)	11.0%
8	巻狩鍋等について説明をする看板	6.5%

(3) 15歳以上の市民及び高校生に対する設問

割合①は市民アンケート結果、割合②は高校生アンケート結果で、赤字は高校生の回答割合が市民の回答割合を超えたもの。回答項目は市民アンケートの回答割合の高かった順に整理。

問1. 那須塩原駅周辺は今後どのようなエリアになれば良いと思いますか。
あなたの描く将来像に近いものを御回答ください。(〇は3つまで)

	回答	割合① 市民	割合② 高校生
1	人や地域に活気や賑わいがあるエリア	39.5%	52.9%
2	繁華街や大型店舗など商業施設を中心としたエリア	32.1%	57.3%
3	災害に強く、犯罪が少ないエリア	28.9%	19.3%
4	多くの観光客の出発点となるエリア	27.9%	18.3%
5	栃木県北の玄関口として象徴となるエリア	27.6%	10.3%
6	医療機関や社会福祉施設が充実したエリア	23.7%	8.9%
7	山並みなどの景観が生かされたエリア	22.5%	8.5%
8	緑地、公園が整備され、自然環境に配慮したエリア	17.5%	19.9%
9	子育てをしやすい、子どもに優しいエリア	15.1%	15.4%
10	バスやタクシーなど交通の結節点となるエリア	12.8%	22.1%

V 市民アンケート調査の結果概要

(3) 15歳以上の市民及び高校生に対する設問

問2. 那須塩原駅周辺に必要だと思う施設は何ですか。
当てはまるものを御回答ください。(〇は3つまで)

	回答	割合① 市民	割合② 高校生
1	飲食店・カフェ	39.9%	53.0%
2	百貨店等の大型店舗	32.9%	57.0%
3	自然豊かな緑地・公園	27.8%	19.6%
4	観光案内所・物産展	20.9%	7.8%
5	那須塩原らしさを感じられるもの	19.2%	7.3%
6	コンサートホール・美術館等の文化施設	19.1%	9.7%
7	雨天時でも子ども達が遊べる屋内施設	15.4%	13.6%
8	スーパーマーケット等	11.8%	14.1%
9	高齢者や障がい者等の社会福祉施設	11.8%	2.6%
10	病院・診療所	11.6%	5.6%

(3) 15歳以上の市民及び高校生に対する設問

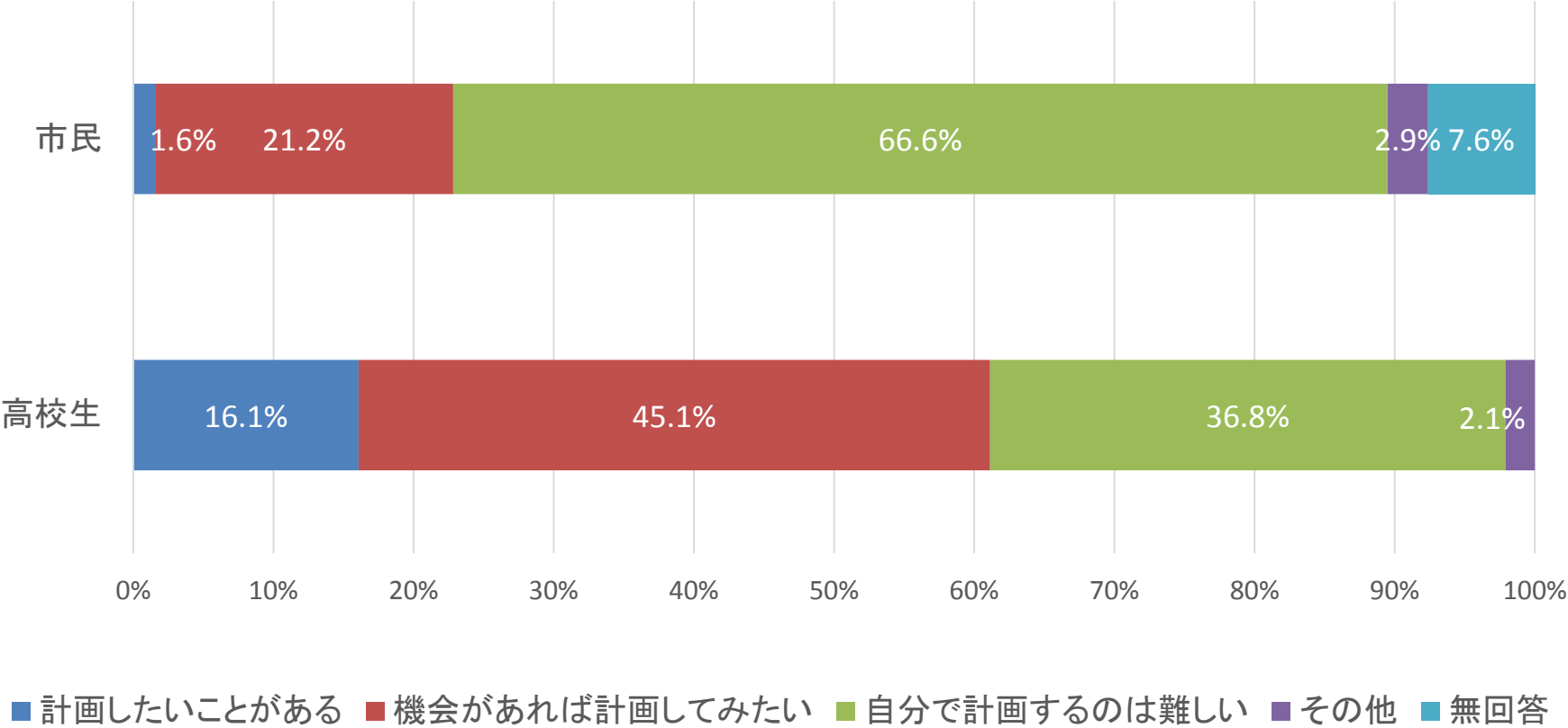
問3. 那須塩原駅周辺で、次のような地域活動やイベントが行われている場合(又は行われた場合)参加してみたい、又は行ってみたいと思うものは何ですか。当てはまるものを御回答ください。(〇は3つまで)

	回答	割合① 市民	割合② 高校生
1	季節を感じるイベント(七夕やイルミネーション等)	48.2%	35.0%
2	マルシェ(青空市場)	42.6%	11.7%
3	これまでも地域で行われている行事(巻狩まつり出陣式、花市等)	39.3%	45.9%
4	野外コンサート・野外映画祭	28.0%	29.7%
5	美術展・アートフェスティバル	22.3%	12.1%
6	フリーマーケット	15.1%	18.1%
7	スポーツイベント(那須塩原クリテリウム等)	12.1%	16.4%
8	特に思わない	11.2%	20.0%
9	歩行者天国	10.6%	15.3%
10	ボランティア活動(清掃活動、観光案内等)	4.5%	11.7%

V 市民アンケート調査の結果概要

(3) 15歳以上の市民及び高校生に対する設問

問4. まちづくりには、市民の皆様の関わりがとても大切であると考えています。あなたは、那須塩原駅周辺のまちづくりに関する地域活動やイベントを計画してみたいと思いますか。当てはまるものを御回答ください。(○は1つ)



I これまでの経過

II 令和2年以降の考え方（新型コロナウイルス感染症による社会の変化を踏まえて）

III 「まちづくりビジョン」の位置付けと「素案」概要

IV 第1回市民懇談会の結果概要

V 市民アンケート調査の結果概要

（参考）30年後の未来予測について

30年後の将来像を検討する上で想定される前提条件

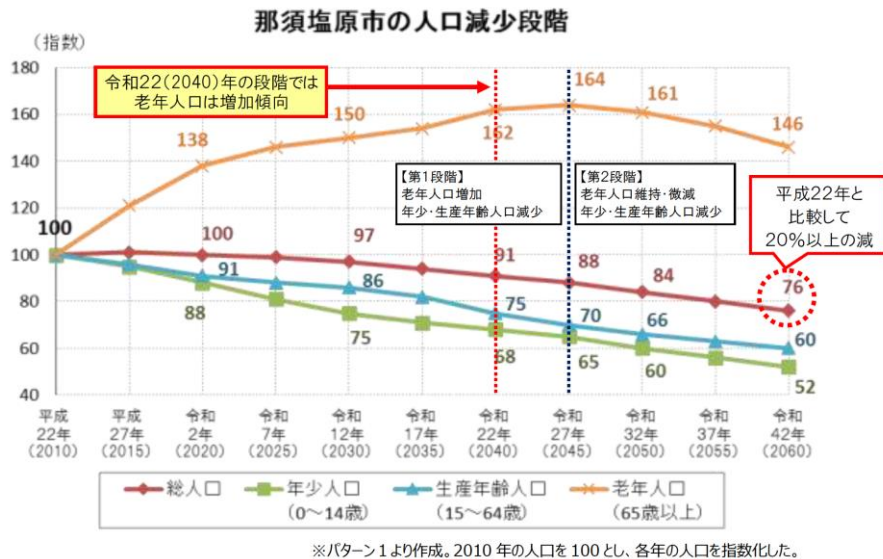
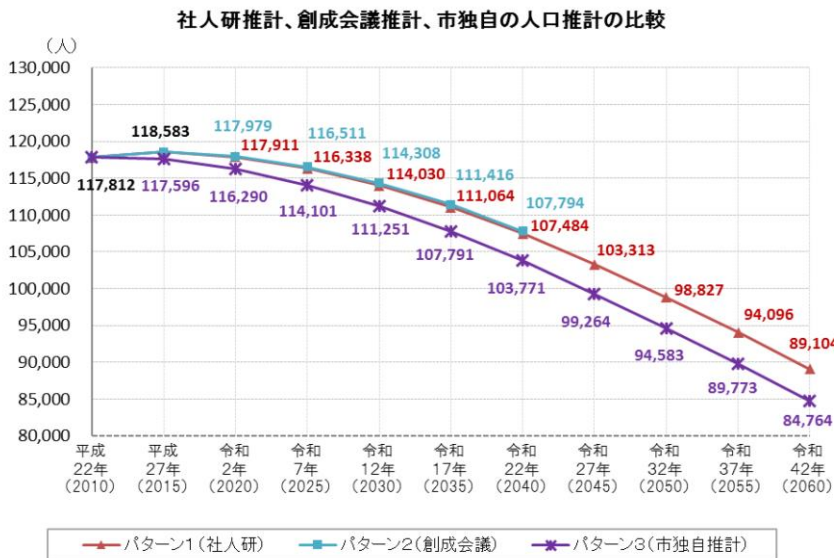
1、リニア中央新幹線整備によるメガシティの形成

東京一名古屋一大阪間におけるリニア中央新幹線の開業により三大都市圏でスーパーメガリージョンが形成され、強烈なストロー現象により首都圏への更なる一極集中が加速。

2、人口減少・少子高齢化の進展

那須塩原市の人口： 11.6万人(2020年)→9.4万人(2050年)の予測(19%減)

65歳以上の高齢人口の割合； 25.5%(2017年)→37.9%(2050年)の予測(12.4%pt増)

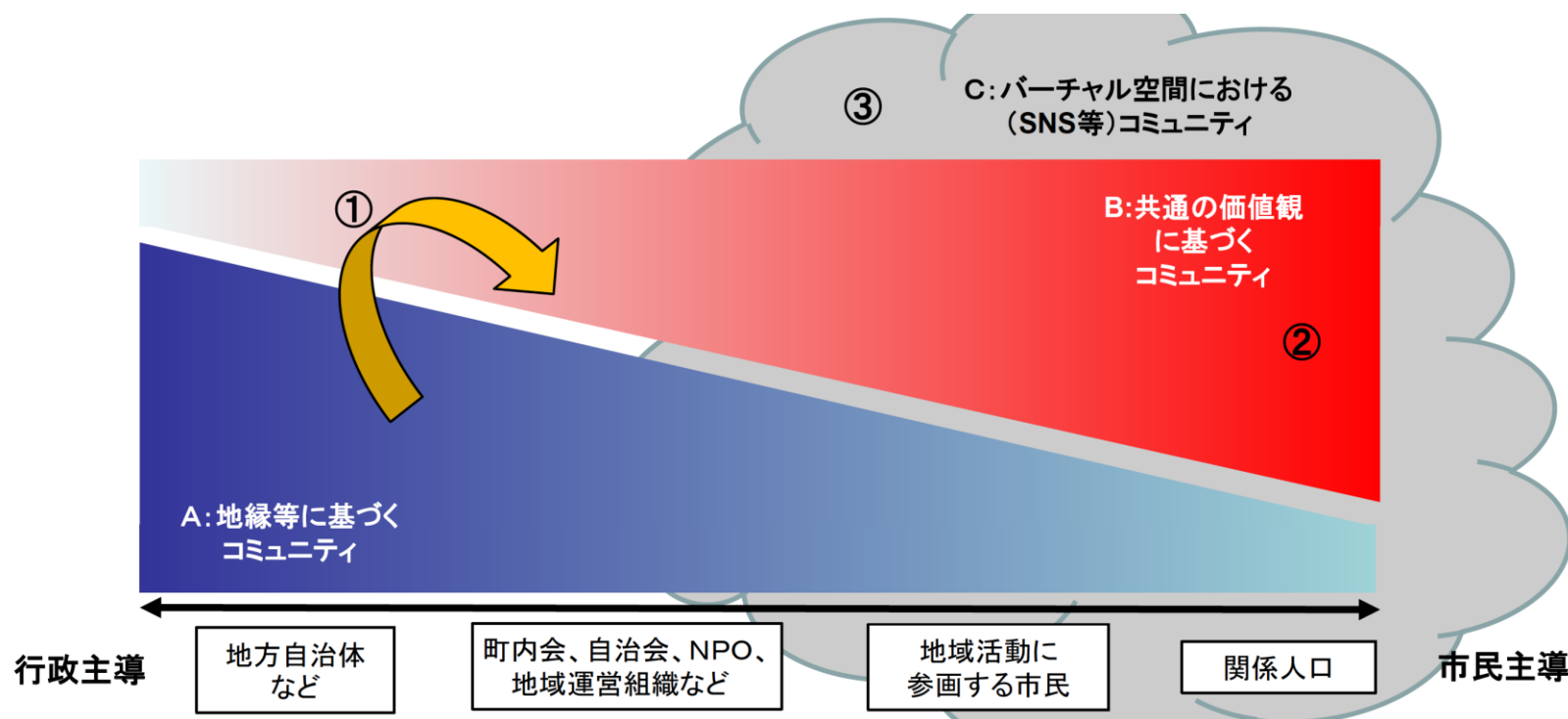


3、ライフスタイル・コミュニティの多様化

新型コロナの影響によりテレワークやコミュニケーションのオンライン化が進展し、働き方や人との繋がり方が変わることが想定される。

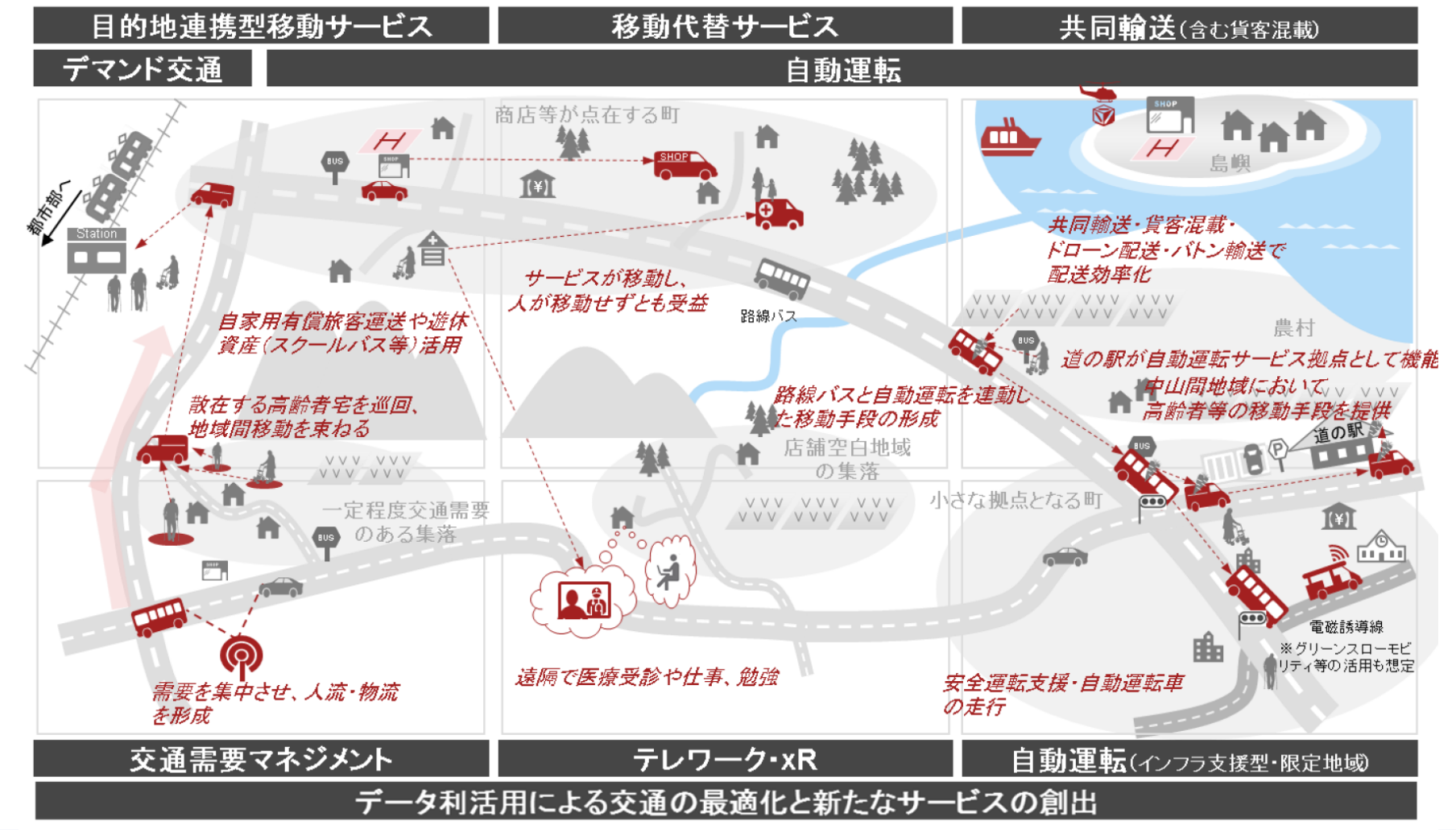
テレワークの進展により、通勤しない生活が可能となり、住む場所をより自由に選択できるようになる。余暇の過ごし方や観光の仕方も多様化。

また、コミュニティは地縁型だけでなく、共通の価値観に基づくコミュニティやSNS等などを通じて多様な展開が広がる。



4、都市構造の変化

自動運転、移動代替サービスの普及によりコンパクト型の都市でなくても生活サービスが維持できる可能性がある。



5、Society5.0の実現

AIなどの技術革新により、スマートシティやテレワーク、MaaS等が高度化。リアルとデジタル・バーチャルの融合がさらに進展。



6、グローバル化の進展

日本の人口減少に伴い、外国人労働者・居住者が増加し、インバウンドはより増加。

7、市民・企業の自主性・自発性に基づく活動の活発化

市民によるボランティア活動が活発化。企業は社会的責任が重要視される。

8、環境配慮・地球温暖化対策の強化

気候変動対策として脱炭素化がより強く求められ、環境に配慮した企業活動・生活様式が一般化。